

現在、理学療法の臨床は、臓器・疾患別に細分化・専門化されている。就労する組織と領域も病期別医療・福祉領域そして教育まで範囲は広がり、求められる業務も細分化されている。臨床各領域の理学療法スペシャリストとは、一般に個々の病態や病期・治療技術の専門家を指すことが多いが、対象者個々のリハビリテートを援助し、その生活やQOLまで頭をめぐらす専門職である限り、理学療法士にはジェネラルな思考も求められる。理学療法士をジェネラリスト・スペシャリストとして定義づけるのではなく、さまざまな視点で論じ、働き方や教育の方向性を考える。

■専門職としてのジェネラリストとスペシャリスト(岩田健太郎論文)

ジェネラルとスペシャルの違いは、どの領域にも存在し、それは医療に限定されることはない。その違いは、本質的な違いか、相対的な違いか。答は、後者である。われわれは絶対的なジェネラリストでもなく、スペシャリストでもない。そして、意識的に両者を加味した存在、ジェネシャリストになったとき、われわれが生き延びる可能性は高まるのである。

■理学療法におけるジェネラリスト・スペシャリスト

1. 理学療法の専門性確立とその育成(佐藤房郎論文)

日本におけるリハビリテーション医療は高齢化率の進展とともに歩んできた。医療情勢の変遷に追従しリハビリテーションの対象領域も拡大し、後療法的位置づけから合併症予防を図る早期介入が重視され、その範囲が保険制度で規定されてきた。日本理学療法士協会では生涯学習プログラムと専門理学療法士制度を立ち上げて専門性向上に努めてきた。職場ではジェネラリスト・スペシャリストを意識した育成が臨床能力向上に欠かせない。

2. 手で感じ取り、頭で解釈し、心を読み解き、そしてアクション(鶴見隆正論文)

理学療法士のかかわりは、患者のimpairmentをベースに、多様なニーズに対して全人的支援を地道に継続するものである。そうした真摯なかかわりは自身を幅広い視点をもつジェネラリストへと進化、変容させる。一方、スペシャリストは狭義の領域に関する知識・技術を極めようとする姿勢が明確であり、患者の行く末にまで目配りとアプローチができる理学療法士と言える。本稿では、二者択一ではなく、患者とその家族のために何をなすべきか、ともに考える。

■理学療法のスペシャリストとして

1. 徒手理学療法のスペシャリストを養成する(山内正雄論文)

徒手理学療法士(orthopaedic manipulative physical therapist: OMPT)は、世界理学療法士連盟の下部組織である世界徒手理学療法士連盟の教育基準によって養成された、神経・筋・骨格系の疾患に対する理学療法のスペシャリストである。ただOMPTの養成には、修士レベルの教育が求められているため、世界的にみても養成数は多くないのが現状である。本稿では、日本におけるOMPT養成の現状と今後の課題について概説する。

2. 理学療法のprofession(岡田 亨論文)

筆者が知るジェネラリストやスペシャリストと呼ばれる理学療法士の診療風景は何とも安心で、希望にあふれた場が醸成され、一種の磁場が発生し、患者・付添・周囲の患者やスタッフまでも包含してしまうエネルギーに満ちている。さまざまな知識や手技を知っているのではなく、患者の前に出力できること。言葉では表現できない患者とのやりとりの診療空間をつくり出してしまふ。そんな理学療法士をprofessionというのである。

3. 中枢神経疾患に対する理学療法(石田利江論文)

中枢神経疾患患者の治療においては、患者の問題を損傷によって生じる症候と、そのために起こる運動、行動障害を中心として、学習能力や環境の違いなどを考慮し、個別的に捉えることが必要である。治療は、刻々と変わる患者の状態に対し評価と治療が同時進行し、1回1回の治療効果が、目標到達に向けて計画づけられている。このすべての過程を患者と共同で行うことが重要である。

4. 呼吸器疾患に対する理学療法(北川知佳論文)

慢性呼吸器疾患の専門施設に勤務している立場から、呼吸器疾患に対する理学療法士のかかわりについて述べた。慢性呼吸器疾患は呼吸困難と低酸素血症が主な症状であり、治療プログラムの立案だけでなくリスク管理の面からもそれらの評価や対応は重要である。また理学療法士は病院から在宅まで、維持期、急性期・急性期からの回復期、終末期などさまざまな場面での柔軟な対応が求められる。

■座談会：理学療法士として「ジェネラリスト」と「スペシャリスト」を考える

(永富史子, 渡辺 敏, 井手伸二, 三浦祐司)

理学療法士は急性期、回復期、生活期などの各病期・病態に応じてスペシャリストとしての役割を担う一方、多職種チームにおいては「理学療法」全般のジェネラリストとしての意見も求められる。理学療法士はどのようにスペシャリストであり、またどのようにジェネラリストでもあるのだろうか。各分野でご活躍の先生方にお集まりいただき、語り合っていたいだいた。